

地元のヒバを有効活用し、 青森県で唯一・化粧品を製造販売！

02-1

ヒバの素晴らしさを多くの人に伝えたい

本州最北端の大間町。ここに青森県で唯一、化粧品の開発・製造から販売まで一貫して行っている会社があります。

大間港の防波堤やフェリーターミナルなど、港湾工事などを手掛ける大見海事工業株式会社が、今から30年程前、新分野に挑戦したヒバ開発株式会社です。

きっかけは、おおま温泉海峡保養センターの宿泊棟建築時、ヒバの端材がたくさん残ったこと。

大見義紀社長は「下北はヒバの産地で、抗菌、脱臭など、その効能は知られていました。なのに、建築で余ったヒバの端材を、ただ薪ストーブの燃料代わりにするのはもったいない。何か作れば、その良さを知ってもらえると、ヒバ枕を作ったのが最初でした」と話します。



研究開発を行う金澤工場長

02 大見海事工業株式会社

おおみかいじこうぎょう

02-2

精油の抽出から、化粧品作りへ発展！



外観



工場内部



平成9年（1997）には化粧品製造販売業の資格を取得し、青森県初の化粧品工場を建設。「当時の青森県工業試験場から指導を受け、ヒバ特有の抗菌・消臭作用など、ヒバ本来の素晴らしさを最大限に生かす精油を作り、それをもとに芳香スプレー、食器洗い洗剤、ボディソープ、シャンプーなどを生産。肌に優しい基礎化粧品の製造に取り組みました」と金澤拓蔵工場長は話します。

作り方は、人気の高いボディソープの場合、ヒバのおがくずを水蒸気蒸留して精油を抽出。精製水と大間の昆布エキスを温め、溶けにくいヒアルロン酸などを入れ混合します。その中に青森生まれのプロテオグリカンと洗浄剤等を入れ、最後にあらかじめ乳化させておいたヒバの精油を混ぜれば完成。

容器に入れ、手作業でシールを貼ったのちに検品して出荷します。精油を絞った後のおがくずは、大間牧場の牛舎で敷きワラに使うなど、有効活用されていました。



ヒバのおがくずから精油を抽出

金澤工場長は「香り高いヒバは、作る側と使う側では感覚が違う。自分たちは毎日匂いをかいでいるので、少しの香りだと匂いを感じないんです。一般の方が程よく感じる量に苦心しました。それに基礎化粧品などは、食品と違って実際に使わないと良さがわからない。物産展などで何か購入してもらい、ファンを作るという地道な作業の連続なんです」と話します。

「県内で化粧品を販売している会社もありますが、それはすべて県外のメーカーへの製造委託。加工に関わる付加価値が県外に流出しているんです。だからこそ私たちは、青森ヒバという優れた効果が期待できる素材を使って、青森で化粧品を作りたいかった。そして雇用拡大にも貢献したかったのです」と大見社長。

02-3

音楽やりんごとコラボし、ヒバ製品の需要拡大へ

ユニークな取り組みとしては、JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントとコラボした五感を潤すオリジナルコンテンツ「KooNe（クーネ）」に香りの分野で参加しアロマ市場へ進出したり、さらにりんご生産日本一である弘前市内の建設企業、ご当地アイドル「りんご娘」などとコラボして、リンゴの果実の蒸留水を加えたボディソープなども作りました。

また、地元の小学生に工場見学してもらい、子どもの頃から特産のヒバに親しんでもらおうという取り組みも行っています。



りんごのコラボ商品
(シャンプー・コンディショナー・ボディソープ)



匂いを抑えた日焼け止め

化粧品は、お客のニーズに合わせて改良を重ね、無添加にするなど成分をよりナチュラルなものに変更。「ヒバの香りを抑えた化粧品として、現在、日焼け止めをリニューアル中です」と2人。最新の入浴剤は平成29年12月1日に発売開始されました。

新分野に取り組んで良かったのは、一流の企業と繋がったこと。

そこで得た最新情報は、本業にフィードバックできるそうです。

今後の課題は「いかに土産品の枠を超え、日常生活で毎日使ってもらえるかです。そして、ここまで続けられたのは、決して諦めないこと。最終目標は山にヒバの苗木を植え、保全活動にも取り組んでいきたい」と大見社長は真摯に語っていました。



トイレタリー
(ボディソープ・シャンプー
コンディショナー)



化粧品
(化粧水・ローション・乳液)



最新の入浴剤

青森・函館でレンタカー事業も展開！

クレーン船を保有し港湾工事を行う大見海事工業は、ヒバ開発のほかにレンタカー業務も行っています。それは青森駅前をはじめ函館市も合わせて6店舗にもものぼります。「実はかつて、大間町でタクシー業も営んでいたのですが、不況になって車と人を抱えるのは辛くなった。ならば、車だけにしようとして15年前からレンタカー業を行っています。建設業不況のときも売上の3割を確保しているため、全国の建設業で新分野に取り組んだ成功例だと思います。そしてレンタカーを始めたことで、フェリーとの強い繋がりができ、お客さんも交通手段の選択の幅が広がったのではないのでしょうか」と大見社長は話していました。



大見海事工業株式会社

039-4601
青森県下北郡大間町大字大間字大間76-2

tel. 0175-37-2224

fax. 0175-37-4766

<http://www.omi-mc.co.jp>

ヒバ開発株式会社

039-4601
青森県下北郡大間町大字大間字大間平37-21

tel. 0175-37-4711 / ☎0120-37-4710

fax. 0175-32-1011

<http://www.aomori-hiba.com>